

2021年9月

現在建築中!

御福台Med印  
(御福台と二工勝浦の土地を掃いた。良かっただ。連絡ください。)



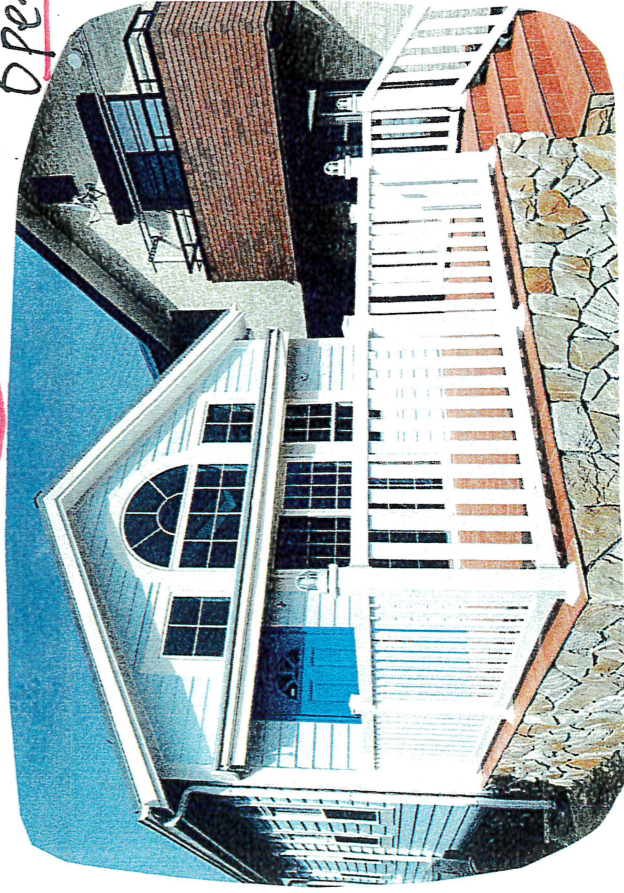
御福台だー印 平屋、メリカ



長柄町 ガラマシ一印 (全館空調)



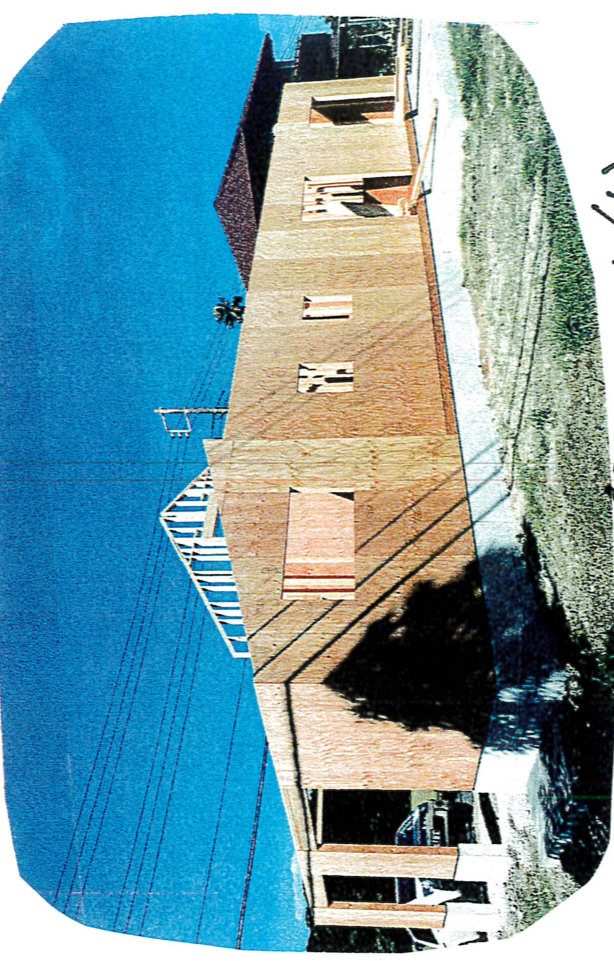
御福台 205-5 カフェムンボウ(明日かopen)



施工は、関東一丹(有)のにおお工事店  
行ないま。本心。0470-68-4848  
と。思。つ。な。ち。い。ま。世。か。?



御福台 ハンパ一印 (ロフト付)  
ガレージ付



長生村 ニヤ一印 (ロフト付) 南吹風



希望の家づくりお手伝いします。  
気軽に見学、建築相談

お待ちください。  
ご主人。





↑FLAT HOUSE↓

房総ライフ / 平屋がいっぱい

【千葉県・野田市】

③千葉県野田市・I邸

# カバードポーチでシアトルスタイル

輸入住宅の家づくりに興味を抱いていたころ、

見学した海沿いの平屋に魅せられて平屋に決めた。

建てる家は老後までずっと大事にしたい、そんな施主の願いが届きました。



## 老後までずっと大切に住みたいから【平屋】を希望しました

北米シアトルに住んでいる親戚の住宅にあこがれて、「～風」ではない本格的な輸入住宅を実現したい、そんな施主Iさんご夫妻の思いは、海沿いの御宿町に建つ平屋を見て一気に夢が広がったそうです。

ご家族はふたりだから、広いリビングと二人の居室で十分です。

ふたつの居室をつなぐ大きなウォークインクローゼット。そしてウイスキーを趣味にするご主人にあこがれの「バールーム」も実現しました。

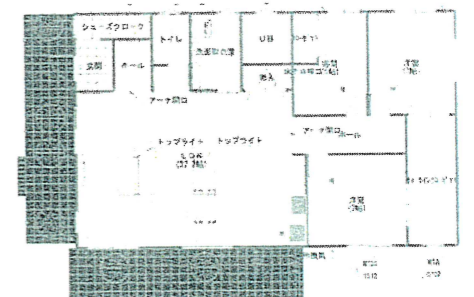
I邸の大きな特長はなんといっても高い天井。5メートルもの高さで27畳の広さでリビングはまるでホールのように。それで断熱性が高いから、エアコン一つで部屋の快適性は十分にたもたれると話します。

輸入サッシから明るい光が差し込む。その先はおうちの2面を取り囲むカバードポーチ。DIYでよく作業をされるご主人には、とても嬉しいスペースだそうです。

「老後までずっと大事にしたいから、平屋にしてよかったと思っています」

シンプルで素敵に暮しているご夫婦にとってもよく似合う【平屋】です。

I邸の平面図(27畳のリビングダイニングと3部屋、大型ウォークインクローゼット。そして2面を囲むカバードポーチが特徴です。)



### DATA

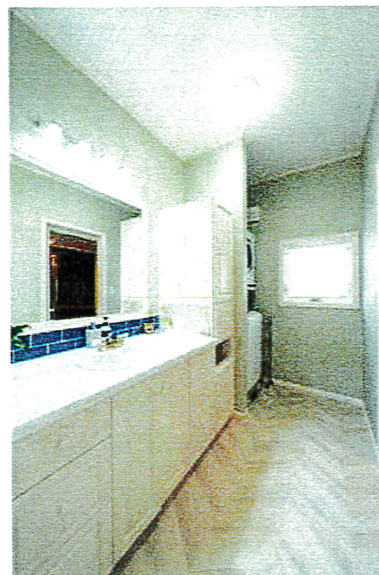
千葉県野田I邸  
敷地面積 / 318.98㎡ (96.66坪)  
延床面積 / 111.79㎡ (33.87坪)  
構造 / 木造ツーバイフォー工法 平屋  
間取り / 3LDK+大型ウォークインクローゼット  
設計・施工 / 株式会社オーシャンスタジオ

### MATERIAL

◎外部仕上げ  
屋根 / シングル葺き  
外壁 / ラップサイディング  
◎主要内部仕上げ  
床材 / バイン材 (20mm)  
天井 / クロス仕上げ



バールーム



バスルーム洗面台



大きなウォークインクローゼット



天井の高いリビングルーム



外房の土地、建物のことなら  
おまかせください

**Ocean Studio**  
オーシャンスタジオ

株式会社オーシャンスタジオ  
千葉県夷隅郡御宿町須賀 473-2  
<https://www.osonjuku.co.jp>  
TEL : 0470-64-6986  
FAX : 0470-64-6984  
<https://osonjuku.co.jp>  
contact@osonjuku.co.jp



息子の会社です。  
不動産もついで。(7名前)



# 07

World Design House

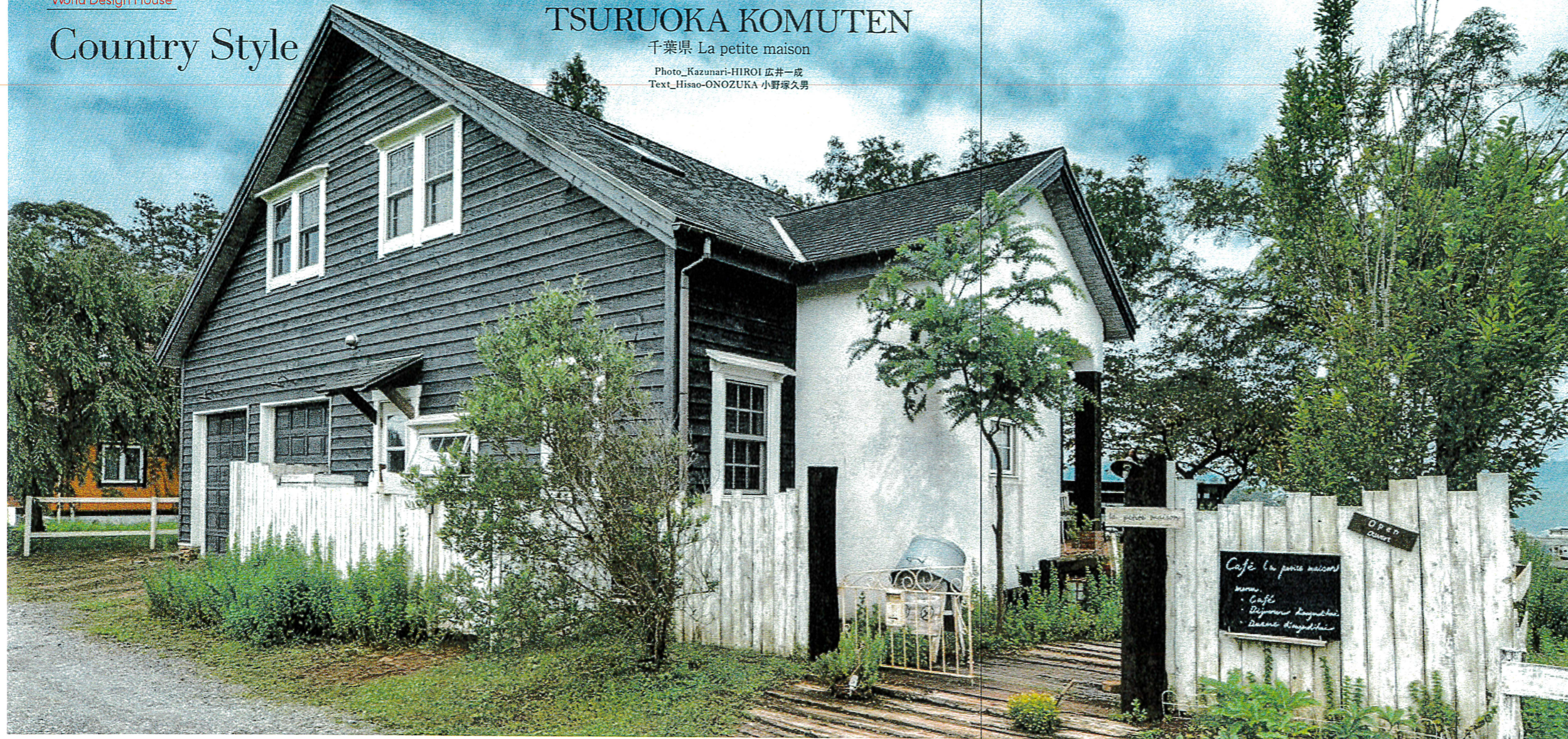
## Country Style

### 暮らしの痕跡が風合いとなる 経年美化を感じさせる空間

## TSURUOKA KOMUTEN

千葉県 La petite maison

Photo\_Kazunari-HIROI 広井一成  
Text\_Hisao-ONOUKA 小野塚久男



### 古いものに宿る価値、魅力に 共感できる人を迎えるカフェ

プロのロードレーサーとして、自転車でヨーロッパを転戦していた経歴を持つ橋詰さん。フランス、イタリア、スペイン、スイス、ベルギーなどの田舎町、山間部を走りながら、風景に溶け込むように建つ、古い家にひかれるようになっていった。2007年に竣工した邸宅は、天然木のラップサイディングに、漆喰の塗り壁という外観。室内は、1階が広々として、

窓からの彩光たっぷりのLDK。2階はセカンドリビング的な空間、2つの居室という間取りになっている。外観は、時間の流れを感じさせる風合いがあり、アンティーク、ヨーロッパの雑貨、小物が置かれる室内にも、暮らしの痕跡が味わいとして刻まれていた。どこを切り撮っても“映える”橋詰邸は、約7年前からカフェとして営業を始めた。『La petite maison』、

フランス語で「小さな家」。ヨーロッパでの経験をもとに、橋詰さんが房総の山間部で実現した贅沢な田舎暮らしを、価値観を共有できる人たちにも感じてほしい。そんな思いから、夫婦で相談してカフェ営業を始めたという。「今の流行りからは程遠いかもしれない。でも、経年が生み出す魅力は間違いなくあります」。経年美化を具現した空間が、ここにある。

### Owner's Voice

「自転車のロードレースでヨーロッパを転戦していた20代の頃から、田舎の風景に溶け込んだ家が好きでした。自分で家进行ることになったとき、頭にパッと浮かんだのは、あの頃の記憶。人の暮らしの痕跡が、時間とともに風合いとして刻み込まれた家は、絵画のように素敵で、こんな家に住みたいと思うようになっていました。新しさや合理性には興味がなく、自分たちが心底寛げ、気持ちよく過ごせること。それが、私にとっての最高の贅沢です」

### Facade

竣工は約14年前。約7年前からカフェ「La petite maison」として営業を始めた橋詰邸。ラップサイディングの外壁は、昨年(2020年)、奥様の好きなグレーに2人で塗り直したという。木々、花に囲まれた環境で、ヨーロッパの国々を転戦しながら憧れた、「風景に溶け込むような古い家」のイメージそのまま。





**1st Floor**

玄関ドアを開けて室内に入ると、広々としたLDKが迎えてくれる。以前は大きなソファを置き、リビングルームとして使っていたが、今はカフェスタイル。インテリアは、ご夫婦で揃えたヨーロッパのアンティークが中心。



**1st Floor**

キッチンを背に、LDKを望む。窓の外にあるのはセコイアの木で、その奥には房総の田園風景が広がる。木製の窓がキャンバスとなる。一幅の絵画のような眺めだ。窓の面積を多くとり、たっぷりの彩光で明るい空間にするのは、奥様の提案だった。



**1st Floor**

階段を上ったところから1階のLDKを望む。薪ストーブは住居として新築したときからのもので、橋詰さんは黒い鉄物製をイメージしていたが、奥様の要望でホーロー製に。「入れてみたら空間の雰囲気はぴったりで、気に入っています」。



**Kitchen**

キッチンはスキップフロアになり、1段下げてある。ヨーロッパの古い家には、半地下などの段差が多く、そこからイメージを含ませた。橋詰さんは「アーチをくぐり、穴蔵に入るような雰囲気をつくりたかった」。床のテラコッタは、経年とともにいい風合いに。

**1st Floor**

リビングの奥にある、バス、トイレのスペースから望む。橋詰さんが特に気に入ってる眺めの1つで、木製のドア、タイル、スイッチなど、あえて古めかしいものを使っている。





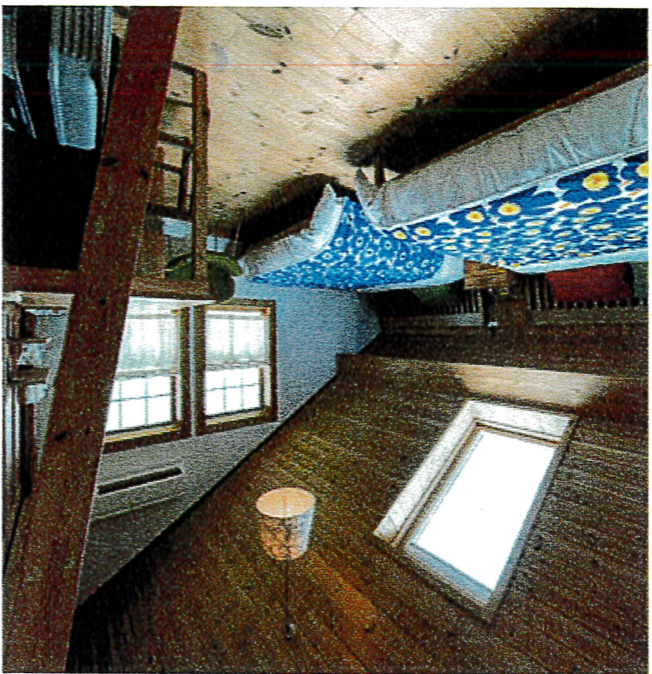
**Guest Room**  
 B&Bとして営業することもあり、以前の家族の居るゲストルームに使用していた。2つあるゲストルームはゲストルームにも天窓があり、屋根の勾配がありながら、明るく開放的な空間になっている。



Guest Room

こちらのゲストルームは、屋根裏に天然の木材を張り、北欧スタイルをイメージして、どこのゲストルームにも天窓があり、屋根の勾配がありながら、明るく開放的な空間になっている。

千葉県  
 La petite maison  
 竣工/2007年  
 延床面積/201.22㎡



VARIAION



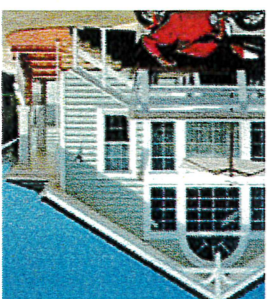
ぬくもりあふれる南欧スタイルの家

リゾート地かつりの地中海沿岸の南欧建築を忠実に再現した邸宅。晋堂に映える暖色系の塗り壁とオレンジ色のアクセント、滑らかな曲線とクラシックな調和したぬくもりのある佇まいは、輸入住宅ブランドに精通している「つるおか工務店」ならではの高きある配天井を生かした開放感のある室内も、施主の理想をかたちにした賢な空間を実現している。



Bathroom

全面にタイルを使い、ヨーロッパのソリッドなイメージを演出している。白と黒のコントラストが絶妙な外観。ラスタの床は茶、手すりや白と黒のコントラストの好みを反映したもので、現地の家の単純な構造でなく、施主の好みやライフスタイルに合わせて一緒に家をづくりあげるのが「つるおか工務店」のスタイル。



雄大な自然を感じるハイアライナス

1990年代末、まだ輸入住宅といえば北米風が主流だった時代に、オーナーならではの希望で建てた南欧風住宅。クラシックスタイルや屋根瓦などの部材をスペインから直輸入し、太陽に映える漆喰仕上げの白い外壁が印象的だ。竣工から10年後にはリノベーションを施し、長く快適に住み継いでいける、スペイン風輸入住宅の醍醐味ともいえる上質な住まいだ。



南欧スタイル輸入住宅の先駆け

1990年代末、まだ輸入住宅といえば北米風が主流だった時代に、オーナーならではの希望で建てた南欧風住宅。クラシックスタイルや屋根瓦などの部材をスペインから直輸入し、太陽に映える漆喰仕上げの白い外壁が印象的だ。竣工から10年後にはリノベーションを施し、長く快適に住み継いでいける、スペイン風輸入住宅の醍醐味ともいえる上質な住まいだ。

INFORMATION

有限会社つるおか工務店

TEL 0470-68-4848

カタログ請求は  
 P124を  
 ご覧ください

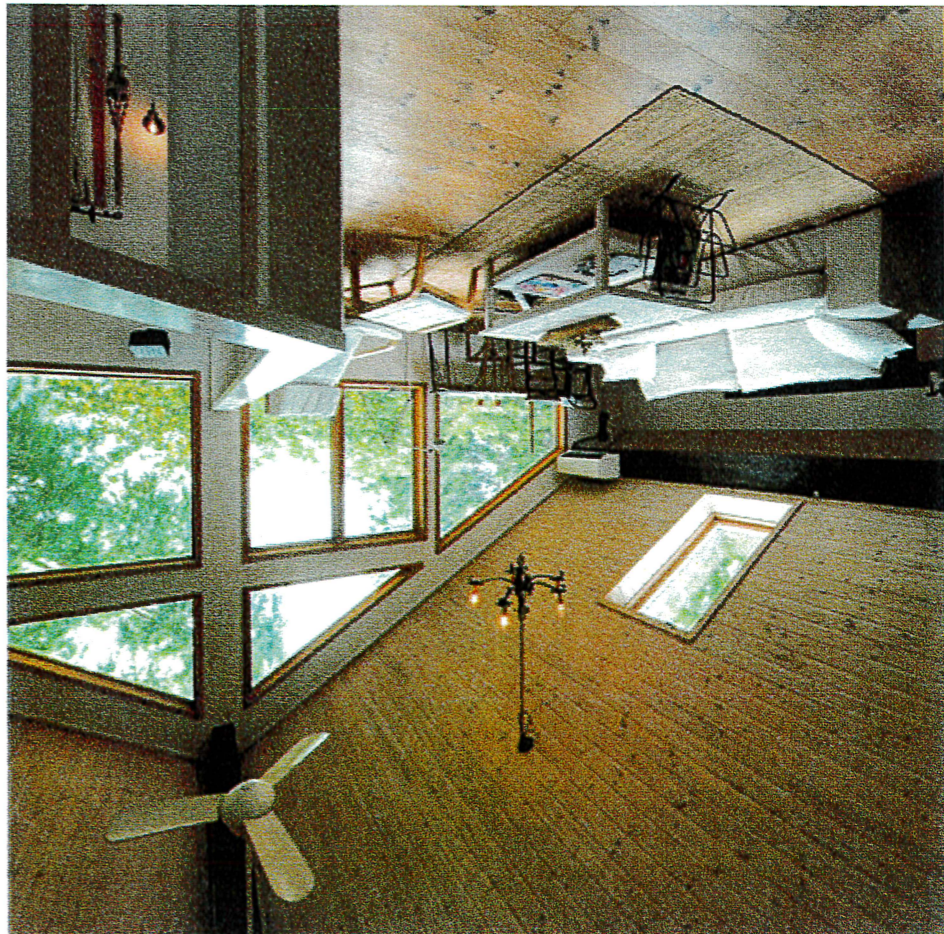
La petite maison

千葉県津市栗坪171-7  
 Cafe・B&B  
 定休日 木・金曜日  
 営業時間 11:30~21:00  
 TEL:0439(27)3700  
 ※現在 コロナ感染症拡大防止の為に要確認  
 完全予約制



Powder Room

カエに架したお空さんで、特に女性が「羨望」を感じるといふ。カエに架したお空さんで、特に女性が「羨望」を感じるといふ。カエに架したお空さんで、特に女性が「羨望」を感じるといふ。



2nd Living

1階のLDKから階段を上ると、セカンドリビングの空間がある。以前は、1人で静かに本を読んだりするときに使っていた。1フロアは北欧スタイルをイメージしておくと、外を眺めながらのコーヒーは格別だといふ。



Entrance Hall

エントランスホールは、玄関にタイルを敷き、ヨーロッパのイメージを演出している。白と黒のコントラストが絶妙な外観。ラスタの床は茶、手すりや白と黒のコントラストの好みを反映したもので、現地の家の単純な構造でなく、施主の好みやライフスタイルに合わせて一緒に家をづくりあげるのが「つるおか工務店」のスタイル。



輸入住宅 **28**年  
ツアーパソコン工法 **35**年の実績

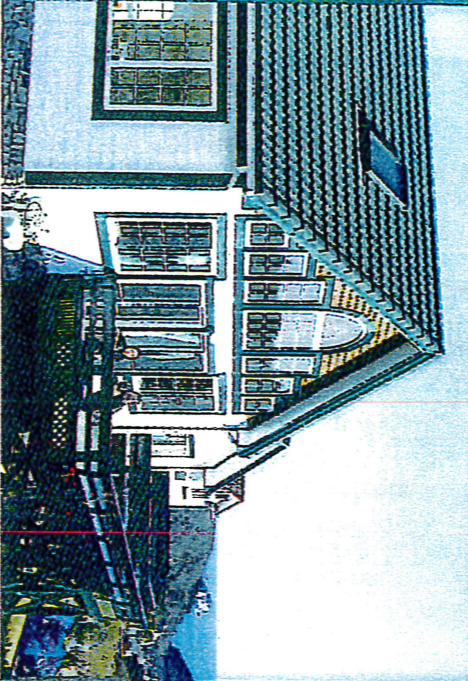
## つるおか工務店

TEL：0470-68-4848

施工地域  
千葉・神奈川・東京・埼玉・茨城 他



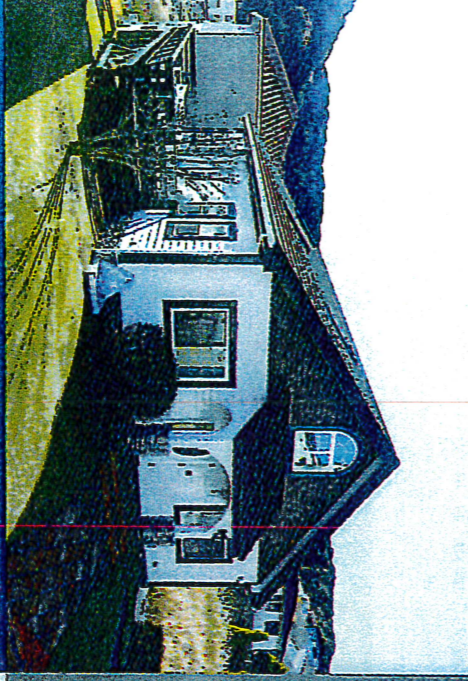
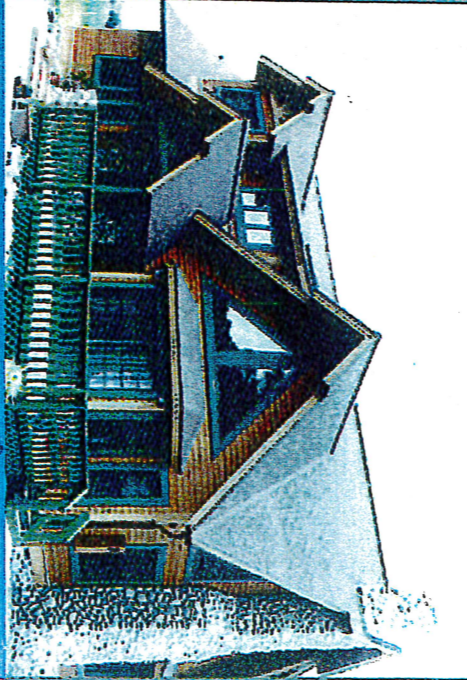
**見学・資料請求!!**  
お待ちしております!  
by つるちゃん



**住み手の個性が  
感じられる家を  
一緒につくりたいと  
願っています**



大切なお客様の家なので一軒ずつ『自分の家なら』という気持ちでつくっています。  
お客様のライフスタイルに合った等身大の家をつくるために、設備機器や建築材料なども一緒に勉強して、お互いによい家をつくることを目指しています。当社ならではのきめ細かさや好評をいただいております。ぜひ、お気軽に声をかけてください。きつと探している暮らしが見つかるはず。



ホームページで  
いろいろなお情報を公開しています  
つるおか工務店 [物 探](#)

